



Cisco ボイスメールパイロット の設定

ボイスメールパイロット番号は、ユーザが本人のボイスメッセージにアクセスするときにダイヤルする電話番号を指定します。Cisco CallManager は、ユーザが電話機上の Messages ボタンを押すと自動的にこのボイスメッセージ番号にダイヤルします。各ボイスメールパイロット番号は、異なったボイスメールメッセージングシステムに属することができます。

次のトピックでは、ボイスメールパイロットの設定について説明します。

- [Cisco ボイスメールパイロットの検索 \(P.53-2\)](#)
- [ボイスメールパイロット番号の設定 \(P.53-5\)](#)
- [ボイスメールパイロットの設定値 \(P.53-8\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「ボイスメールの Cisco CallManager への接続性」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」

Cisco ボイスメールパイロットの検索

ネットワーク内にはいくつかの Cisco ボイスメールパイロットが存在することがあるので、Cisco CallManager では、固有の条件を指定して、特定の Cisco ボイスメールパイロットを見つけることができます。Cisco ボイスメールパイロットを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco CallManager Administration では、ブラウザセッションでの作業中は、Cisco ボイスメールパイロットの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、Cisco ボイスメールパイロットの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 Feature > Voice Mail > Voice Mail Pilot の順に選択します。

Find and List Voice Mail Pilots ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウンリストボックスを使用して、Cisco ボイスメールパイロットを検索します。

ステップ 2 最初の Find voice mail pilots where ドロップダウンリストボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- Description
- Voice Mail Pilot Number
- Calling Search Space



(注) このドロップダウンリストボックスで選択する条件によって、検索時に生成される Cisco ボイスメールパイロットリストのソート方法が決まります。たとえば、Calling Search Space を選択すると、Calling Search Space 列が結果リストの左側の列に表示されます。

2 番目の Find voice mail pilots where ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- ends with (後方一致)
- is exactly (完全一致)
- is empty (空白)
- is not empty (非空白)

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。

**ヒント**

データベースに登録されている Cisco ボイスメールパイロットをすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

検出された Cisco ボイスメールパイロットのリストが、次の項目別に表示されます。

- Voice Mail Pilot icon
- Description
- Pilot Number
- Calling Search Space

**(注)**

該当する Cisco ボイスメールパイロットの横にあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、Find and List Voice Mail Pilots ウィンドウから複数の Cisco ボイスメールパイロットを削除できます。Matching Records タイトルバーにあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべての Cisco ボイスメールパイロットを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致する Voice Mail Pilot icon、Device Name、Description、または関連する Device Pool をクリックします。

選択した Cisco ボイスメールパイロットがウィンドウに表示されます。

関連項目

- [ボイスメールパイロット番号の設定 \(P.53-5\)](#)
- [ボイスメールパイロットの設定値 \(P.53-8\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「ボイスメールの Cisco CallManager への接続性」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」

ボイスメールパイロット番号の設定

ボイスメールパイロット番号を設定する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** **Feature > Voice Mail > Voice Mail Pilot** の順に選択します。
 - ステップ 2** ウィンドウの右上にある **Add a New Voice Mail Pilot** リンクをクリックします。
 - ステップ 3** 適切な設定値を設定します (表 53-1 を参照)。
 - ステップ 4** 新規ボイスメールパイロット番号を追加するには、**Insert** をクリックします。既存のボイスメールパイロット番号の設定を更新するには、**Update** をクリックします。
-

関連項目

- [Cisco ボイスメールパイロットの検索 \(P.53-2\)](#)
- [ボイスメールパイロットの設定値 \(P.53-8\)](#)
- [メッセージ受信の設定 \(P.52-1\)](#)
- [ボイスメールプロファイルの設定 \(P.54-1\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「ボイスメールの Cisco CallManager への接続性」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」

ボイスメールパイロット番号の削除

ボイスメールパイロット番号を削除する手順は、次のとおりです。デフォルトやボイスメール以外のプロファイル番号は、削除できません。

始める前に

ボイスメールプロファイルが使用するボイスメールパイロット番号は、削除できません。ボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルを検索するには、Voice Mail Pilot Configuration ウィンドウの **Dependency Records** リンクをクリックします。Dependency Records がシステムで使用可能になっていない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、[P.A-4 の「Dependency Records へのアクセス」](#)を参照してください。使用されているボイスメールパイロットを削除しようとする、Cisco CallManager はエラーメッセージを表示します。現在使用されているボイスメールパイロットを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルすべてに、別のボイスメールパイロットを割り当てる。[P.54-6 の「ボイスメールプロファイルの設定」](#)を参照してください。
- 削除するボイスメールパイロットを使用しているボイスメールプロファイルを削除する。[P.54-4 の「ボイスメールプロファイルの削除」](#)を参照してください。

手順

ステップ 1 Feature > Voice Mail > Voice Mail Pilot の順に選択します。

ステップ 2 削除する Cisco ボイスメールパイロットをクリックします。

ステップ 3 Delete をクリックします。

確認のウィンドウが表示されます。



(注) デフォルトまたは *No Voice Mail* のパイロット番号を選択した場合、Delete ボタンは表示されません。

ステップ 4 ボイスメールパイロットを削除するには、**OK** をクリックします。削除操作を取り消すには、**Cancel** をクリックします。

ボイスメール プロファイルがこのボイスメールパイロット番号を使用している場合は、このボイスメールパイロット番号を使用しているボイスメール プロファイルの番号を示すメッセージが表示されます。

関連項目

- [Cisco ボイスメールパイロットの検索 \(P.53-2\)](#)
- [ボイスメールパイロット番号の設定 \(P.53-5\)](#)
- [メッセージ受信の設定 \(P.52-1\)](#)
- [ボイスメールプロファイルの設定 \(P.54-1\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「ボイスメールの Cisco CallManager への接続性」
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」

ボイスメールパイロットの設定値

表 53-1 では、ボイスメールパイロットの設定値について説明します。

表 53-1 ボイスメールパイロットの設定値

フィールド	説明
Voice Mail Pilot Number	ボイスメールパイロット番号を識別する番号を入力します。
Description	パイロット番号の説明を記述します。
Calling Search Space	<p>ドロップダウンリストボックスから、適切なコーリングサーチスペースを選択します。コーリングサーチスペースは、このパイロット番号からコールされる番号を見つけるために検索されるパーティションの集合から構成されます。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウンリストボックスで表示するコーリングサーチスペースの数を設定できます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで設定された数よりもコーリングサーチスペースの数が多い場合、省略記号ボタン (...) がドロップダウンリストボックスの横に表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Calling Search Space ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにコーリングサーチスペース名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるコーリングサーチスペースのリストで希望するコーリングサーチスペース名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p></p> <hr/> <p>(注) リストボックスの最大項目を設定するには、System > Enterprise Parameters の順に選択し、CCMAdmin Parameters を選択します。</p>
Make this the default Voice Mail Pilot for the system	<p>チェックボックスをオンにして、このパイロット番号をそのシステムの Voice Mail Pilot のデフォルトにします。</p> <p></p> <hr/> <p>(注) Default ボックスをオンにすると、このボイスメールパイロット番号は、現在のデフォルトパイロット番号を置き換えます。</p>

関連項目

- [Cisco ボイスメールパイロットの検索 \(P.53-2\)](#)
- [ボイスメールパイロット番号の設定 \(P.53-5\)](#)
- [メッセージ受信の設定 \(P.52-1\)](#)
- [ボイスメールプロファイルの設定 \(P.54-1\)](#)
- 『*Cisco CallManager システム ガイド*』の「ボイスメールの Cisco CallManager への接続性」
- 『*Cisco CallManager システム ガイド*』の「Cisco Unity 設定チェックリスト」

■ ボイスメールパイロットの設定値